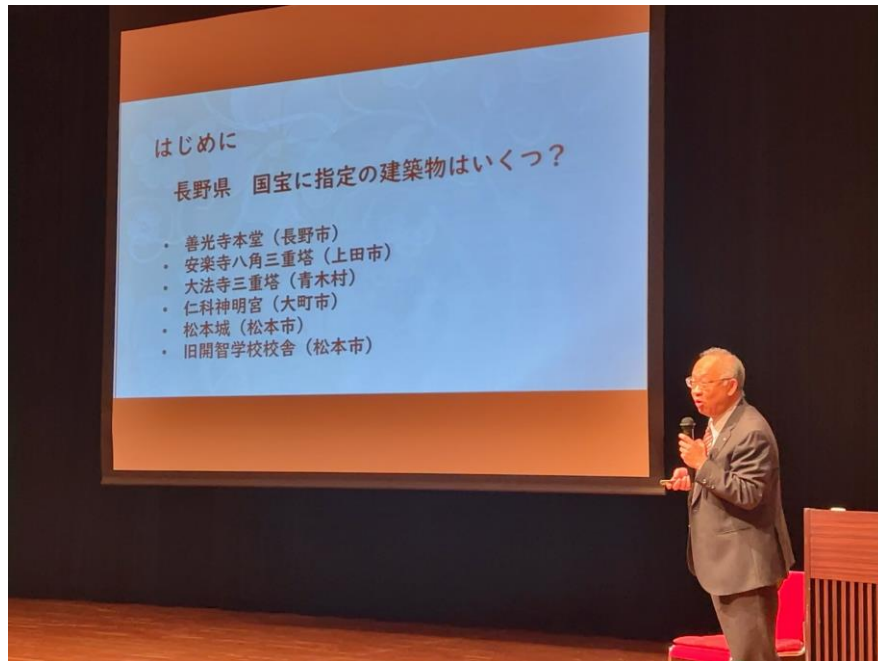


まほらいな市民大学の様子

令和7年1月21日（火）

『 古 社 寺 を 巡 る ～私流の楽しみ方～ 』

講師 まほらいな市民大学副学長 福與 雅寿 教育長



福與雅寿氏から、古社寺を巡るときの私流の楽しみ方についての講演がありました。

はじめに長野県にある国宝6つのことや、国宝が一番多い都道府県などについて話がありました。そして、若いころ教員として勤務した「信州の鎌倉 上田市塩田平」で史跡を調査し、研究の面白さにふれたという体験談がありました。福與氏の私流の視点として、建造物のつくりや見どころ、仏像のいわれやしくみ、神社についての逸話（祀られている神の伝説等）など、興味深い話がありました。他にも善光寺―北向観音―守屋山が一直線上に並んでいることや、日本の神社仏閣、古墳や遺跡が一直線上にある「Ley Line(レイライン)」の話もありました。

学生からは、「たいへん面白い内容でした。社寺の建築物のとらえ方(着目点など)が参考になりました。」「寺院の仏像や神社の建築様式など時代によって違いがあり興味がわきました。」「神社についての逸話を初めて聞いてたいへん面白かった。」「お寺や神社を巡るのが好きなので、今日のお話をもとにじっくり鑑賞したいと思います。」「神社にお参りに行ったら、お願いするだけでなく感謝する。自分の努力を誓って、願いを叶えてもらう。という話が心に残りました。」といった感想がありました。